

BamHI



Code No. 1010A 容量: 10,000 U
濃度: 15 U/ μ l

添付試薬:
10 × K Buffer 1 ml
10 × Loading Buffer 1 ml

- 形状 10 mM Tris-HCl, pH7.5
400 mM KCl
0.1 mM EDTA
1 mM DTT
0.15% Triton X-100
0.01% ウシ血清アルブミン
50% グリセロール

●保存 - 20°C

●起源
Escherichia coli carrying the plasmid encoding *BamH I* gene

- 一般的な反応液
BamH I 1 μ l
10 × K Buffer 2 μ l
基質 DNA \leq 1 μ g
滅菌精製水 up to 20 μ l

●反応温度 30°C

●活性の定義
反応液 50 μ l 中、30°Cで1時間に1 μ gの λ DNAを完全に分解する酵素活性を1 Uとする。

●品質管理
性能試験結果については、各ロットのCertificate of Analysis (CoA)をご覧ください。CoAはタカラバイオウェブサイトからダウンロードできます。

● Universal Buffer の相対活性

	L	M	H	K	T(+BSA)
相対活性 (%)	(40)	(60)	80	100	60

(): スター活性が出現しやすい。

● Basal Buffer での塩濃度の影響

塩濃度 (mM)	0	50	100	150	200
相対活性 NaCl (%)	40	100	120	60	20
相対活性 KCl (%)	40	100	120	60	40

Basal Buffer 組成

- 10 mM Tris-HCl, pH8.0
- 7 mM MgCl₂
- 100 mM NaCl
- 1 mM DTT
- 0.01% ウシ血清アルブミン

●各種 DNA の切断数

	SV	ϕ X	pBR	pUC	pUC	M13	Col	
λ	Ad2	40	174	322	19	119	mp18	E1
5	3	1	0	1	1	1	1	0

●メチル化の影響

dam methylase, dcm methylase および CG methylase の影響を受けない。

●Star 活性

高濃度グリセロール、Mn²⁺またはDMSO存在下では認識配列がゆるむことがある。

●使用上の注意

37°C反応でも同等の酵素活性を示すが、30°Cと比較して酵素反応中の安定性が少し低い。

● Universal Buffer 組成 (-20°C保存)

1. 10 × L	100 mM Tris-HCl, pH7.5	4. 10 × K	200 mM Tris-HCl, pH8.5
	100 mM MgCl ₂		100 mM MgCl ₂
	10 mM Dithiothreitol		10 mM Dithiothreitol
2. 10 × M	100 mM Tris-HCl, pH7.5		1,000 mM KCl
	100 mM MgCl ₂	5. 10 × T	330 mM Tris-Ac, pH7.9
	10 mM Dithiothreitol	(BSA-free)	100 mM Mg-Ac
	500 mM NaCl		5 mM Dithiothreitol
3. 10 × H	500 mM Tris-HCl, pH7.5		660 mM K-Ac
	100 mM MgCl ₂		6. 0.1% BSA
	10 mM Dithiothreitol		7. 0.1% Triton X-100
	1,000 mM NaCl		

● 10 × Loading Buffer 組成 (開封後、室温保存)

- 0.9% SDS
- 50% Glycerol
- 0.05% Bromophenol Blue

反応液量の1/10量以上の10 × Loading Bufferを添加し、酵素反応を止め、アガロースゲルにアプライしてください。また、保存中にSDSが析出することがありますが、温浴で溶解してお使いください。

●注意

本製品は研究用として販売しております。ヒト、動物への医療、臨床診断用には使用しないようご注意ください。また、食品、化粧品、家庭用品等として使用しないでください。
タカラバイオの承認を得ずに製品の再販・譲渡、再販・譲渡のための改変、商用製品の製造に使用することは禁止されています。
ライセンスに関する情報は弊社ウェブカタログをご覧ください。
本データシートに記載されている会社名および商品名などは、各社の商号、または登録済みもしくは未登録の商標であり、これらは各所有者に帰属します。